

寺島実郎
Jitsuro Terashima

21世紀未来圏 日本再生の構想

全体知と時代認識

時代の本質を見据えた日本の進むべき道とは

コロナ・パンデミック、ロシアのウクライナ侵攻、イスラエル・ガザでの戦争、そして世界戦争の予兆——20世紀の世界秩序において重きをなしてきた「三つの帝国」たる米国、中国、ロシアが、21世紀において世界を束ねる大国としての正当性を失いつつある中、世界秩序は急速に流動化し、グローバル・サウスといわれるアジア、アフリカ、中南米の新興国群をはじめ、「全員参加型秩序」の21世紀潮流が動き出している。経済産業とインテリジェンスの最先端を生きた人間の責任として、21世紀を日本はどう生きるかを考察する。

2024年5月18日発売
四六上製 予288頁
定価＝本体予2,600円＋税

〒101-8002 千代田区一ツ橋2-5-5
TEL. 03-5210-4000（代表）
website <https://www.iwanami.co.jp/>

岩波書店

岩波書店 ＊2024年5月新刊のご案内

2024. 2



■ 予定目次

はじめに 21世紀システムを日本はどう生きるのか——全体知の中での構想力

針路 日本再生の構想

1章 21世紀日本再生の構想 —— 3つの柱

1 構想の前提となる内外の潮流への基本認識 / 2 日米同盟の再設計と柔軟な多次元外交の創造 / 3 アベノミクスとの決別とレジリエンス強化の産業創成 / 4 戦後民主主義の錬磨——新しい政治改革と高齢者革命の可能性

2章 前提となる時代認識——歴史的転換点に立つ日本

1 近現代史の折り返し点に立つ日本 / 2 4つの帝国の解体と2つの理念の登場 / 3 20世紀世界システムにおける日本——戦後日本の繁栄とは何だったのか

3章 21世紀システムの輪郭

1 21世紀システムの宿病としての金融不安 / 2 ロシア・中国の衰退とその意味 / 3 米国の衰退とその本質 / 4 3人の先人——福沢諭吉、石橋湛山、そして高坂正堯 / 5 国家構想なき日本を超えて

道程 全体知に立つ思索のプロセス

考察1 時代認識との格闘 —— パンデミック、国際関係

1章 コロナと並走して

1 新型コロナウイルス危機の本質——理性ある対応とは何か / 2 コロナ危機の中間総括

2章 ウクライナ危機とロシア

1 プーチンの誤算 / 2 ロシア正教の意味 / 3 近代史におけるロシアと日本

3章 日本外交の基軸 —— 対米関係の再設定

1 バイデンの米国と正対する日本外交の構想力 / 2 尖閣問題の本質と外交的解決策の模索

考察2 民主主義と資本主義の相関性

1章 「民主主義」の歴史を考える

1 中国・国家資本主義という擬制 / 2 古代アテネの民主制の基盤 / 3 近代民主主義の成立要件と21世紀の模索

2章 戦後民主主義を守り抜く覚悟

1 私の戦後民主主義 / 2 戦後日本の大衆民主主義 都市中間層の今 / 3 戦後民主主義と安倍政治

考察3 経済・産業再生への進路

1章 これからの経済を考え抜く

1 日本経済・産業再生への道筋 上・下 / 2 「脱成長」という視界から新たな産業論へ

2章 「新しい資本主義」か「あるべき資本主義」か

1 「新しい資本主義」への視界 / 2 公正な分配とは何か / 3 新次元のルール形成へ

おわりに 1994シンδροームを超えて

寺島実郎 (てらしま・じつろう)

1947年北海道生まれ。早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了後、三井物産入社。米国三井物産ワシントン事務所所長、三井物産常務執行役員、三井物産戦略研究所会長等を経て、現在は(一財)日本総合研究所会長、多摩大学学長、(一社)寺島文庫代表理事。国土交通省・国土審議会計画部会委員、経済産業省・資源エネルギー庁総合資源エネルギー調査会基本政策分科会委員等を歴任。

著書に『脳力のレッスンI~V』『日本再生の基軸』『シルバー・デモクラシー』『人間と宗教あるいは日本人の心の基軸』(岩波書店)、『ダビデの星を見つめて 体験的ユダヤ・ネットワーク論』(NHK出版)、『中東・エネルギー・地政学』(東洋経済新報社)、『世界を知る力』(PHP新書)他多数。